

## スペイン. 文学の旅

### 訳例と解答例

#### 7. ソリアの野 (3) p.17

私は再び黄金色のポプラを見た。  
ソリア, それはカスティーヤの土地で  
アラゴンを望む物見やぐら  
その古い城壁の後ろの  
サンポーロ教会とサン・サトゥリオ教会の間の  
ドゥエロ川の岸辺の道のポプラ並木。

きのうは小夜啼鳥で  
枝をたわわにしていた優しいポプラよ,  
あすは春に芳しい風の  
リラとなるだろう。  
流れ, 去り, 眠る川の岸辺の  
ポプラよ。  
ドゥエロの岸辺のポプラの木よ,  
私とともに来い, 私の心はおまえたちを連れて行く!

\*L2. álamos del camino は前の álamos dorados と同格ですか? →はい。

\*L4. tras ...は San Polo y San Saturio を修飾している。

\*L5. Soria と barbacana 以下は? →これも同格の関係です。

\*L1-6 の構造は? →動詞部は He vuelto a ver, その目的語が los álamos dorados, L2 の álamos del camino en la ribera は前の los álamos dorados と同格, L3 の del Duero と entre San Polo y San Saturio は la ribera を修飾し, tras las murallas viejas de Soria は San Polo y San Saturio を修飾する。L5 の barbacana...は Soria と同格。

\*L7. álamos del amor の意味は? →de は「説明」に使われます。ここでは「愛情のある, 優しい」

L6. hacia は「近い」? →「…に向かって」という意味です。

●EJERCICIO p.18

広間の暗い片隅に

おそらくは主人にも忘れられ

音もなくほこりに包まれた

たて琴があった.

\*この文を普通の語順に直すと? →Se veía el arpa, silenciosa y cubierta de polvo, en el ángulo oscuro, tal vez olvidada de su dueño

\*「音もなくほこりに包まれたたて琴があった」は「たて琴は静かにほこりに包まれていた」でもよい.

\*olvidada は→olvidar [他動] の過去分詞. 「忘れられた」という意味.

\*veíase は? →se veía. 代名詞が動詞の後になるのは古い文章や文語体の文章に見られます.

\*veíase は「自分が自分を見る」? →verse は再帰動詞で「…という状態である」の意味になります.

\*tal vez は「おそらく, たぶん」という意味の熟語.